



BLUE FLAG

ビーチ・マリーナの国際環境認証

ブルーフラッグ

海辺の国際環境認証「Blue Flag」取得への挑戦 ～ 海を起点とした持続可能なまちづくりを目指して～

NPO法人 湘南ビジョン研究所

理事長 片山清宏



片山清宏（NPO法人湘南ビジョン研究所 理事長）

- 神奈川県藤沢市 出身
- 慶應義塾大学大学院
政策・メディア修士課程修了
- 1999年 厚木市役所
- 2009年 神奈川県庁
- 2010年 松下政経塾
- 2011年 湘南ビジョン研究所設立



1 海が好き





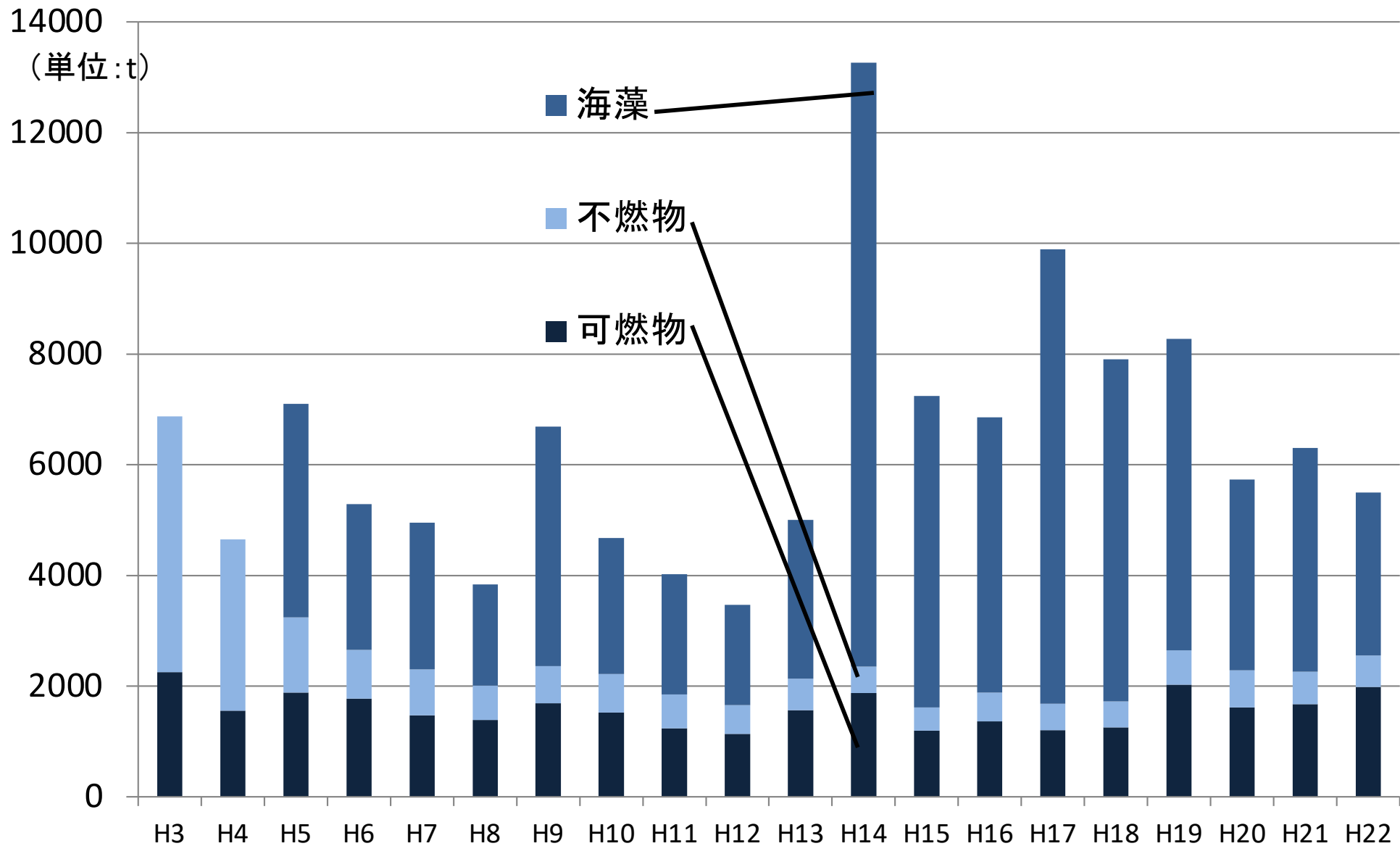






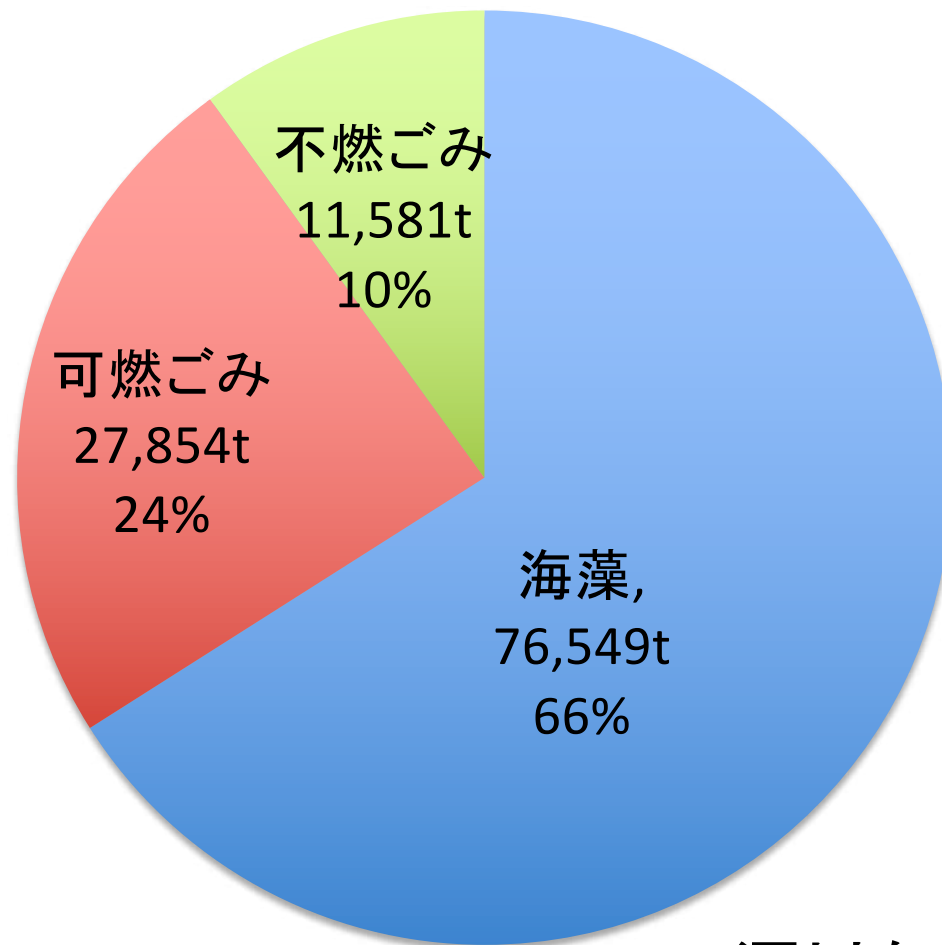
ある統計を見て衝撃を受ける！

海岸ごみ量、過去20年間減っていない

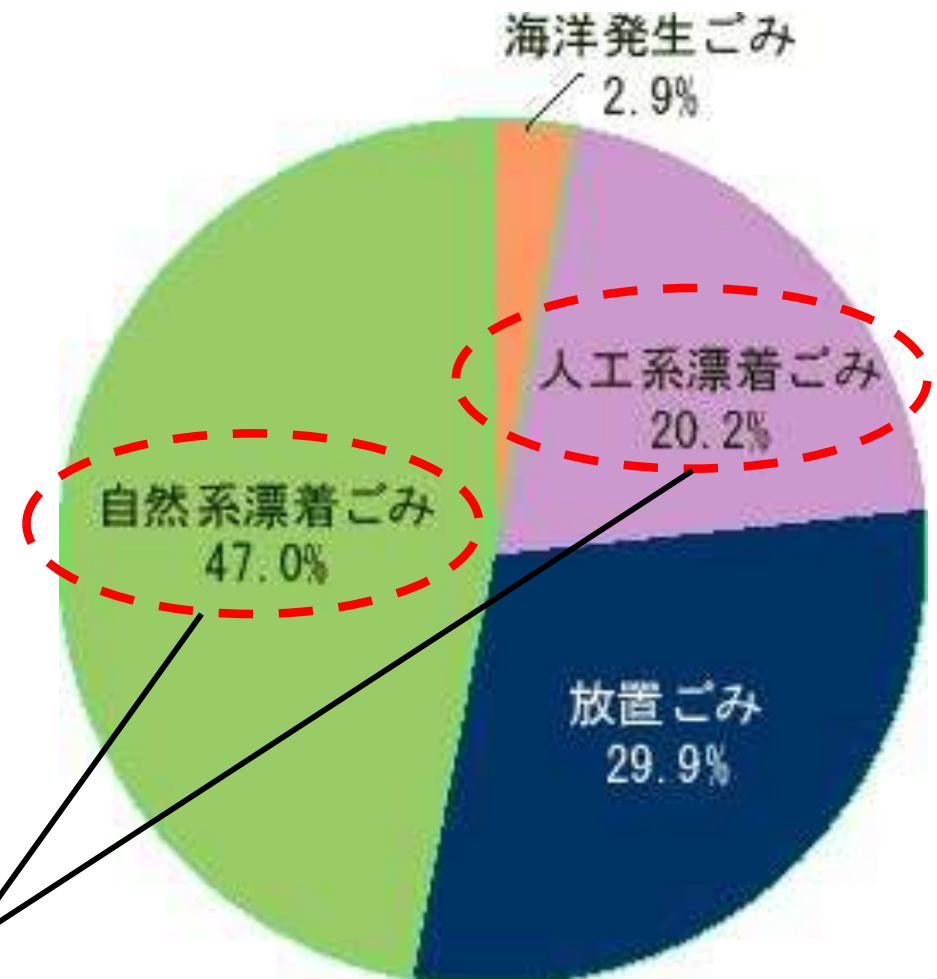


海岸ごみの内訳

■ 総ごみ処理量 (H3～H22)



■ 7割は河川から、3割は放置ごみ



河川から
流れ着くごみ

調査期間: 1992年～1995年
データ提供: (財)かながわ海岸美化財団

ビーチクリーンでは
根本解決にならない

川・街を含めた地域全体で
行政・企業・市民が協力すべき



地域が一体となれる
大きな目標が必要

**2010年、市役所を退職し、
湘南ビジョン研究所を設立**

湘南まちづくりビジョンを示し、
アジア初のブルーフラッグ取得を
湘南から目指すことを宣言

2 湘南のまちづくりビジョン

2 国保年金課

国保年金課
総合受付
Reception

国保年金ご協力のお願い
東日本大震災により
被災された方々への支援のため、
国保年金を免付させていただきます。
お手続きの際は、国保年金課へお問い合わせください。

国民健康保険・国民年金の各種手続き
National Health Insurance and National Pension

国保年金課 受付

国保年金の受付窓口です。
受付時間：午前8時30分～午後5時
受付場所：国保年金課 受付窓口



3つの特徴

「行政」都合ではなく、「市民」主導

「総花的」ではなく、「湘南の特性」生かす

「自治体単独」ではなく、「連携」めざす

湘南都市構想2022

10年後のまちづくりビジョンを
市民自らの手でつくる

海

教育

スポーツ

観光

産業

福祉

医療

防災

交通

分科会

分科会

分科会

分科会

湘南9市町の広域連携



湘南都市構想2022」ができるまで

「湘南都市構想2022」は、10年後の湘南地域の理想のまちづくりビジョンです。2012年4月から2013年2月までの10ヶ月間、公募で集まった40名の市民ボランティアのメンバーが「教育・スポーツ」「観光・産業」「医療・福祉」「防災・交通」の4つの政策テーマ別の分科会に分かれ、12回の全体会や分科会等、延べ80回の会議を行い議論してきました。最終的には、24本のプロジェクト(提言)にまとめ、2013年2月9日に最終提言発表を行いました。

なお、構想策定の際は、全14回開催した「湘南の海を考えるミニフォーラム」や、有識者ヒアリング、100人ワールドカフェ、中間発表会において、学識経験者や市民の方々から貴重なご意見をいただきました。



01 キックオフミーティング



02 全体会議



03 有識者ヒアリング／湘南の海を考えるミニフォーラム



04 100人ワールドカフェ



05 里山ツアー



06 中間発表会



07 湘南未来フォーラム 2013in 江の島



24本のプロジェクト



3 ブルーフラッグへの挑戦

世界で最も歴史のある海の国際環境認証



認証基準(4分野・33項目)

水質

- 大腸菌等に関する水質基準の定期調査
- 産業排水や下水の排出規制
- 汚染に対処する地域緊急計画策定
- 海草や他の植物の堆積や腐敗対策

環境教育

- ビーチの安全上の警告体制の整備
- 希少保護対象動植物保護の事前協議
- 海岸環境に関する認識向上教育活動
- 関係者への海岸環境の情報提供

環境マネジメント

- 海岸地域計画や環境に関する法律順守
- 遊泳、マリンスポーツ等、海岸利用のニーズの調整及びゾーニング
- ビーチへのアクセスのバリアフリー化
- トイレ設備の設置及び管理
- ごみ箱の設置及び管理
- 適切なビーチの清掃
- 持続可能な方法での交通手段

安全性

- 夏期シーズン中のライフガードの配置及び適切な緊急時対策
- ビーチ内の工事現場や廃屋への進入規制。建造物の景観配慮
- 救急施設の設置とその位置の明示
- 公害の安全性に関するリスクに対処するための緊急対策計画の整備
- ビーチ地域のパトロール

取得主体

ビーチ



マリーナ



観光船舶事業者



認証取得までの流れ

step1

地元関係団体と調整の上、国内運営組織に申請



step2

国内審査委員会による審査



各分野の専門家により構成される国内審査委員会において審査実施

step3

国際審査委員会による審査



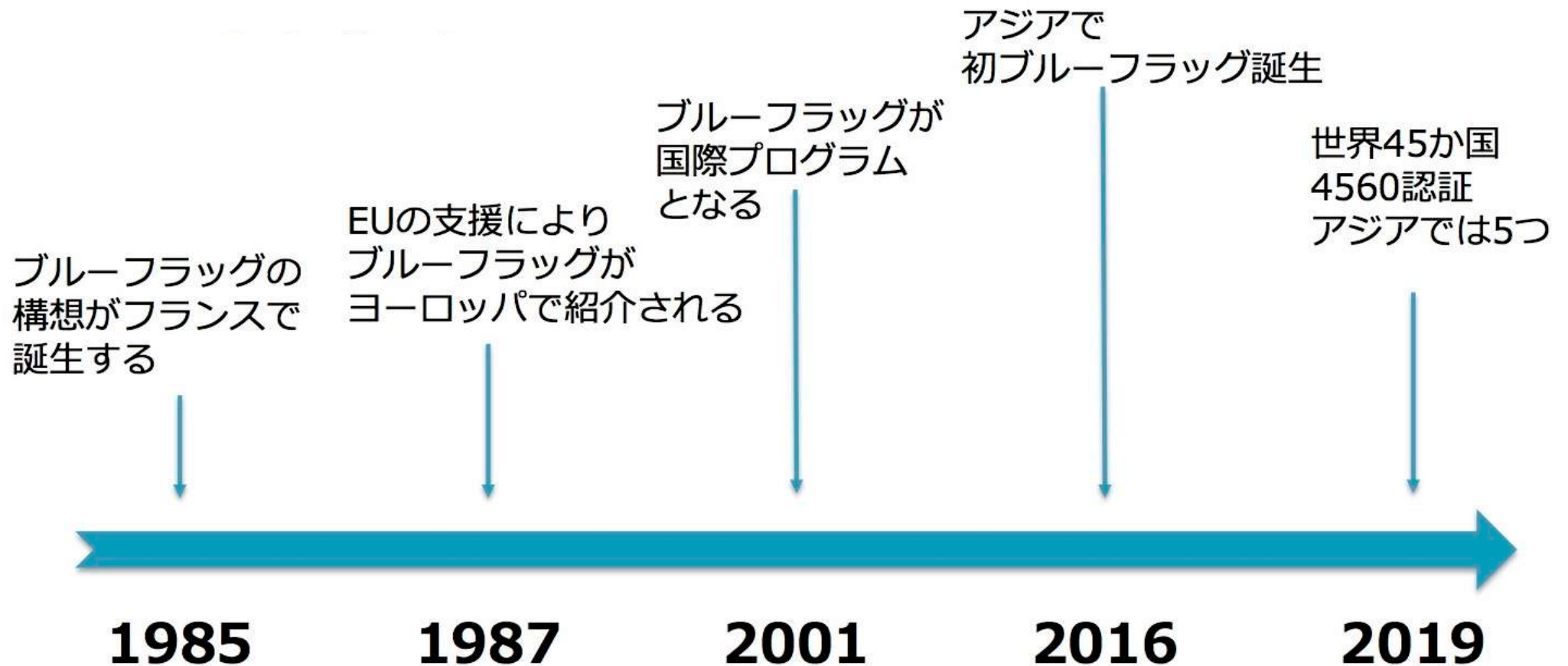
国内審査委員会の推薦を経て、国際審査委員会で最終決定される。

step4

ブルーフラッグ認証取得、1年ごとの更新

国内運営組織により定期的な検査を行い、基準を満たしていないビーチは認証を取り消される。

ブルーフラッグの歴史



世界に広がるブルーフラッグ

2019年4月

49カ国

4820

ビーチ・マリーナ
観光船



10年前、アジアには
ブルーフラッグ認証ビーチは
一つもなかった

ブルーフラッグを目指した理由

ビーチクリーンでは
根本解決にならない

ブルーフラッグを目指した理由

川・街を含めた地域全体で
行政・企業・市民が協力すべき



地域が一体となれる
大きな目標が必要



ブルーフラッグ

ゼロからのスタート
回りは冷ややか



ブルーフラッグの大義が共感を呼ぶ



ブルーフラッグ活動

ビーチクリーン



水質調査



安全リスク対策



バリアフリー対策



環境教育



行政の協力による調査・申請書作成



2016年 アジア初ブルーフラッグ取得



祝

2021.4 Congratulations

2021年 片瀬西浜・鵠沼海水浴場は
ブルーフラッグ認証を取得しました！





世界が認めるビーチに

「ブルーフラッグ」民間初



ブルーフラッグの取得を鈴木市長に報告する森井理事長（左）

片瀬西浜・鵜沼海水浴場を開設する「江の島海水浴場協同組合」（森井裕幸理事長）が水質や美観、安全性などが保たれたビーチに与えられる国際認証「ブルーフラッグ」を取得した。国内5例目、民間団体としては初となる。先月27日、関係者が藤沢市役所を訪れ、鈴木恒夫市長に報告した。

片瀬西浜・鵜沼海水浴場

ブルーフラッグは国際NGOが実施する認証制度で、水質や環境教育など設定された33の基準を満たす必要がある。同組合は2019年11月から取得に向けた取り組みを始め、今年2月に国内審査を通過。同16日に認証が決定した。

市役所を訪れた森井理事長は「全国屈指の海水

浴場として、環境問題に取り組みながら誰もが安心安全なビーチを目指していきたい」と抱負。鈴木市長は「認証取得をうれしく思う。誰もが過剰しやすく環境に配慮したビーチへ一緒に盛り上げていきたい」と述べた。

ブルーフラッグは海開きの日に掲げる予定。具体的には定期的な水質検査やビーチクリーンなど海岸美化活動を行うほか、車いす利用者が快適に過ごせるようバリアフリー化を実施。環境対策としてストローや容器などプラスチック製品の削減にも取り組むという。

昨夏はコロナ禍で海水浴場開設を断念。海の家営業もできない中、組合員が見回り活動などを行い、ビーチの「無秩序化」を防いだ。今夏に向けて森井理事長は「コロナの心配はあるが、開設できるよう万全の体制で準備する」と話した。



ビーチの国際環境認証

祝 ブルーフラッグ認証取得

片瀬西浜・鵜沼海水浴場

202



日本のBF認証ビーチは5ヶ所に



An aerial photograph of the city of Toyooka, Japan, showing the city's layout along the coast. In the background, the snow-capped peak of Mount Fuji is visible against a clear blue sky. The city is densely packed with buildings, and a large body of water, likely Lake Biwa, is visible on the left side of the image. A small island or peninsula is visible in the foreground, connected to the mainland by a bridge. The text is overlaid on the left side of the image.

逗子海岸、
リビエラ逗子マリーナも
2022年4月取得を目指し活動中

ブルーフラッグの効果(ねらい)

1

海の課題の明確化 → 有効な改善策

2

世界基準のビーチとして証明

3

観光客が訪れ地域経済が活性化

4

市民の愛着と誇りが生まれ、運動が継続



持続可能なまちづくり

「環境」「経済」「社会」の調和

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



4 湘南VISION大学の開校

海の環境教育に特化した市民大学



海の環境教育に特化した市民大学



海の環境教育に特化した市民大学



「かながわ地球環境賞」 受賞



わたしの目標

2030年までに、
日本に100カ所の
ブルーフラッグビーチを誕生させ、
日本の素晴らしい海を
次世代に引き継ぎたい

A man and a woman are standing on a sandy beach, holding a large blue banner. The banner features the year '2016' in white text on the left and a large white circular logo in the center. The logo contains a stylized blue wave design. The man is wearing a striped t-shirt and green shorts, and the woman is wearing a white top and a straw hat. In the background, other people are visible on the beach, and the ocean is under a blue sky with scattered white clouds.

2016

海を守り、未来をつくる